



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 天馬株式会社
 コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 廣野 裕彦
 (氏名) 須藤 隆志
 TEL 03-3598-5515

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	18,394	15.6	582	39.9	813	24.6	473	51.0
2020年3月期第1四半期	21,793	6.9	968	193.1	1,078	201.9	965	304.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,147百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 1,213百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	19.66	
2020年3月期第1四半期	39.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	89,639	71,521	79.8	3,002.19
2020年3月期	94,543	74,156	78.4	3,073.41

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 71,521百万円 2020年3月期 74,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	18.4	750	52.9	750	56.7	500	65.2	20.87
通期	72,500	15.5	2,000	34.8	2,300	36.1	1,500	40.1	62.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	26,813,026 株	2020年3月期	26,813,026 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	2,990,147 株	2020年3月期	2,684,867 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	24,051,829 株	2020年3月期1Q	24,128,467 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象等)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響により世界的に経済活動が停滞し、急激な景気減速を余儀なくされました。また、米中貿易摩擦の長期化・深刻化等の景気下振れ要因も併存しており、先行きは不透明感が増す状況が続いております。

日本経済においても、4月に緊急事態宣言が発令され、全国的に外出自粛が行われたことから個人消費が落ち込み、世界経済の収縮から輸出企業を中心とした企業活動も停滞し、極めて厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるとともに、特に海外において工場の稼働が低下したことに伴い固定費削減に努めてまいりました。

この結果、売上高は18,394百万円(前年同期比84.4%)となり、営業利益は582百万円(前年同期比60.1%)、経常利益は813百万円(前年同期比75.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は473百万円(前年同期比49.0%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、緊急事態宣言による外出自粛から自宅で過ごす時間が長くなる人が多くみられ、日用品需要が急増し売上が増加しました。一方、工業品合成樹脂製品分野の受注につきましては、電機電子及び車両関連において新型コロナウイルス感染拡大の影響から得意先の減産調整により売上が減少しました。

利益面につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品の売上が好調となったこと及び前期から取り組んでいる物流の最適化等の実施により前年同期比で増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、6,098百万円(前年同期比98.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は490百万円(前年同期比143.5%)となりました。

(中国)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、中国地方政府からの指示に従い春節後から本年2月中旬頃まで工場の稼働を停止し、その後、順次稼働を再開しております。このような状況の中、工業品合成樹脂製品分野においては、新型コロナウイルス感染症の影響による取引先の生産調整が続いていることから売上が減少しました。ハウスウエア合成樹脂製品分野においては、EC販売は堅調に推移しましたが、リアル店舗での販売が減少し売上は微減となりました。利益面につきましては、売上の減少及び工場の稼働減少により前年同期を下回る結果となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における中国現地法人の連結対象期間は1月から3月でありますため、工場の稼働停止期間の固定費につきましては特別損失に計上しております。

この結果、当セグメントの売上高は、3,875百万円(前年同期比65.1%)となり、セグメント利益(営業利益)は147百万円(前年同期比49.3%)となりました。

(東南アジア)

当第1四半期連結累計期間における東南アジア現地法人の連結対象期間は1月から3月であり、東南アジアの各拠点においては、本年3月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が開始しております。このような状況の中、工業品合成樹脂製品分野において、新型コロナウイルス感染症の影響による取引先の生産調整により売上が減少しました。利益面につきましては、工場の稼働減少に伴い経費削減に努めましたが、生産調整による減収を吸収しきれず、前年同期を下回る結果となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、8,421百万円(前年同期比87.2%)となり、セグメント利益(営業利益)は310百万円(前年同期比53.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて4,904百万円減少し、89,639百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が2,549百万円、現金及び預金が1,187百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,269百万円減少し、18,118百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,967百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,635百万円減少し、71,521百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が1,873百万円減少し、控除項目である自己株式が520百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,995,694	29,809,142
受取手形及び売掛金	16,897,456	14,348,154
商品及び製品	2,636,264	2,472,941
仕掛品	661,842	657,770
原材料及び貯蔵品	3,664,622	3,377,872
その他	1,588,130	1,435,810
貸倒引当金	△1,941	△2,507
流動資産合計	56,442,067	52,099,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,722,636	12,062,229
機械装置及び運搬具(純額)	10,269,389	9,483,214
使用権資産	3,806,795	3,675,644
その他	3,736,058	4,510,717
有形固定資産合計	30,534,878	29,731,804
無形固定資産	3,001,982	2,888,628
投資その他の資産		
投資有価証券	3,062,957	3,433,992
退職給付に係る資産	1,017,061	1,022,340
繰延税金資産	60,147	75,926
その他	430,528	393,678
貸倒引当金	△6,650	△6,566
投資その他の資産合計	4,564,043	4,919,370
固定資産合計	38,100,903	37,539,802
資産合計	94,542,970	89,638,985
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,127,927	7,160,909
未払法人税等	337,519	284,235
賞与引当金	920,636	815,171
租税関連費用引当金	150,141	149,078
その他	4,340,681	4,333,299
流動負債合計	14,876,904	12,742,693
固定負債		
長期末払金	256,695	256,695
役員株式給付引当金	99,324	109,392
退職給付に係る負債	329,505	303,748
リース債務	3,599,482	3,505,683
資産除去債務	218,557	218,538
繰延税金負債	1,006,665	981,341
固定負債合計	5,510,229	5,375,398
負債合計	20,387,133	18,118,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	17,531,538	17,531,538
利益剰余金	39,298,419	38,803,279
自己株式	△3,954,500	△4,474,388
株主資本合計	72,100,807	71,085,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	229,092	492,677
為替換算調整勘定	1,664,951	△207,700
退職給付に係る調整累計額	160,913	150,076
その他の包括利益累計額合計	2,054,956	435,052
非支配株主持分	74	63
純資産合計	74,155,837	71,520,894
負債純資産合計	94,542,970	89,638,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	21,793,064	18,394,049
売上原価	17,938,822	14,751,463
売上総利益	3,854,241	3,642,586
販売費及び一般管理費	2,886,068	3,060,728
営業利益	968,174	581,858
営業外収益		
受取利息	37,546	43,618
受取配当金	63,160	62,874
持分法による投資利益	20,694	39,548
為替差益	—	80,792
その他	32,726	35,425
営業外収益合計	154,125	262,257
営業外費用		
支払利息	6,922	11,613
売上割引	26,119	19,091
為替差損	11,056	—
その他	283	681
営業外費用合計	44,380	31,386
経常利益	1,077,919	812,729
特別利益		
固定資産売却益	86,819	3,394
補助金収入	—	6,392
特別利益合計	86,819	9,785
特別損失		
固定資産売却損	2,387	—
固定資産除却損	81	3,295
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	189,350
特別損失合計	2,468	192,645
税金等調整前四半期純利益	1,162,269	629,869
法人税等	197,313	157,082
四半期純利益	964,957	472,788
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	964,955	472,786

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	964,957	472,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125,056	263,585
為替換算調整勘定	390,617	△1,797,159
退職給付に係る調整額	△17,536	△10,837
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△75,506
その他の包括利益合計	248,025	△1,619,916
四半期包括利益	1,212,982	△1,147,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,212,978	△1,147,118
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2020年3月13日付にて第三者委員会から調査報告書を受領し、当社の海外子会社において税務調査等に関連して外国公務員に対する複数の金銭交付あるいはその疑いのある行為が行われていた旨の調査結果が報告されました(調査報告書(公表版)については2020年4月2日付にて公表しております)。当社としては、ステークホルダーの皆様および社会からの信頼回復を目指し、全社一丸となって2020年5月1日付にて公表しました再発防止に取り組んでおります。当該事案に関して、今後、当社に制裁金が科されるおそれがありますが、関連する法的手続は多くの不確実性及び複雑な要素を含んでおり、現時点でその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、連結財務諸表には反映していません。また、海外子会社の所在地国においても現地において類似の制裁金が科されるおそれがありますが、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、連結財務諸表には反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルスの感染拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、当社グループの一部の拠点においても、各国政府からの感染拡大抑制の指示による移動等の自粛や取引先での生産調整等から、工場の稼働に影響が出ております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期及び今後の当社グループに対する業績への影響を合理的に予測することは現時点では困難な状況にありますが、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損に関する判断に関しては、現時点で入手可能な外部の情報源に基づき影響を分析・評価した結果、2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続すると仮定して、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、翌四半期以降の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

当社は、2020年8月7日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項について次の通り決議いたしました。

- | | |
|---------------|---------------------------------------------|
| ①自己株式の取得を行う理由 | 資本効率の向上を図ると共に、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため。 |
| ②取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ③取得する株式の総数 | 1,000,000株(上限) |
| ④株式の取得価額の総額 | 2,000,000,000円(上限) |
| ⑤取得する期間 | 2020年8月11日～2021年8月10日 |
| ⑥取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,183,560	5,953,592	9,655,912	21,793,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,221	39,375	81	66,677
計	6,210,781	5,992,967	9,655,993	21,859,741
セグメント利益	341,711	298,462	578,555	1,218,728

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,218,728
セグメント間取引消去	2,755
全社費用(注)	△253,310
四半期連結損益計算書の営業利益	968,174

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,098,104	3,875,164	8,420,781	18,394,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,314	55,503	—	79,817
計	6,122,418	3,930,667	8,420,781	18,473,866
セグメント利益	490,290	147,120	310,028	947,438

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	947,438
セグメント間取引消去	2,290
全社費用(注)	△367,871
四半期連結損益計算書の営業利益	581,858

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。